

食品安全関係情報(4月5日 ～4月18日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

4月5日 ～4月18日 収集件数 (合計90/109件) (前回3月21日 ～4月4日)		国際機関 WHO・FAO等 (4/4件)	北米 米国 (10/6件)	カナダ (4/7件)	欧州 EU、EFSA (24/36件)	各国 (12/14件)	大洋州 FSANZ等 (5/3件)	アジア 中国 (5/11件)	各国 (7/8件)	中南米等 各国 (0/1件)	その他 報道、論文等も含む (19/19件)
化学物質 (30/34件)	化学物質・汚染物質 (7件)	0	0	0	3	0	1	0	0	0	3
	食品添加物 (7)	0	0	0	5	0	0	1	1	0	0
	農薬 (10)	0	5	0	3	1	0	0	1	0	0
	動物用医薬品 (1)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	器具・容器包装 (4)	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	その他 (1)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	計 (30件)	0	5	0	13	3	2	1	3	0	3
微生物・プリオン・自然毒 (29/25件)	細菌 (6件)	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
	ウイルス (7)	1	0	1	2	1	0	1	0	0	1
	原虫・寄生虫 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	植物性自然毒 (4)	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (3)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	動物性自然毒 (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	その他 (5)	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0
	計 (29件)	4	3	3	2	5	2	3	1	0	6
新食品等 (5/11件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (2)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	健康食品 (2)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (5件)	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0
肥料・飼料等 (1/16件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (1件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他 (25/23件)	表示 (3件)	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (16)	0	0	0	9	1	1	1	1	0	3
	論文情報 (6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	計 (25件)	0	1	0	9	1	1	1	3	0	9
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(4月5日～4月18日収集分 90件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciiis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州連合(EU)、食料品中に存在するカドミウムの低減を加盟国に勧告
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 2010～2012年における食品中のカルバミン酸エチル濃度のモニタリングデータを評価した技術的報告書を公表
 - ・ ビスフェノール A(BPA)の再評価を 2014 年末までに完了すると報道発表
 - ・ 香料グループ評価 401：化学グループ 34 のグルタミルバリルグリシンに関する科学的意見書を公表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)
 - ・ 放射線照射処理するプラスチック製食品包装材料の使用許可申請について意見書を公表
 - ・ ビスフェノール A(BPA)の食品経路暴露によるヒトの健康リスク評価に関する欧州食品安全機関(EFSA)の意見書案に対する意見公募についての意見書(コメント)を公表
- ・ オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、フードサーベイランスニュース 4 月号で「リンゴ及びナシジュース中の総ヒ素及び無機ヒ素の分析調査」を公表
- ・ 台湾衛生福利部、「食品添加物の成分規格及び使用基準」の改正案を公表、意見募集を開始

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 世界保健機関(WHO)、食品由来吸虫症に係るファクトシートを更新
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州疾病予防管理センター(ECDC)、A 型肝炎集団感染に関するリスク評価書を更新
- ・ Eurosurveillance：「2013～2014 年の欧州において進行中の集団 A 型肝炎：ノルウェーにおける集団感染の原因と疑われる輸入ミックスベリーケーキ」
- ・ 英国食品基準庁(FSA)、北アイルランドの貝類の生体毒及び植物プランクトンのモニタリング結果を公表
- ・ 米国疾病管理予防センター(CDC)
 - ・ Foster Farms 製鶏肉が原因とみられる多剤耐性 Salmonella Heidelberg による集団感染情報を更新
 - ・ 「米国のサルモネラ症発生地図(1968 年～2011 年)」を発表
- ・ カナダ保健省(Health Canada)、内臓を取り除いていない塩漬けの魚製品はボツリヌス菌による汚染の懸念が大きいとして注意喚起
- ・ 香港衛生署衛生防護センター、ヨウシュヤマゴボウ(洋種ヤマゴボウ)による食中毒の疑いがある事例が発生した旨公表

【新食品等】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、甲殻類への放射線照射を認可

【その他】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、リスクコミュニケーション用インフォグラフィックス「リスク評価 vs リスク管理：違いは何か？」を公表